

テキスト ヨシュア記3章

**〈契約の箱を先頭に〉**

荒れ野を旅する間、民はずっと契約の箱に従ってきました。契約の箱は主の臨在の見えるしるしでした。同じように、契約の箱に導かれて民はカナンの地に入ることとなります。ヨルダン川の岸に着いたとき、民の役人は命じました。「あなたたちは、主の箱を祭司たちが担ぐのを見たなら、立ってその後が続け。これまで一度も通ったことのない道であるから、主の箱があなたたちを導く。ただ主の箱に余り近づいてはいけない」と。民の中であって主のご臨在のしるしであった主の箱が先導して民をカナンの地へと導くのです。かくして主御自身がまずこの地を御自身のものとされるのです。

**〈大いなる者とされたヨシュア〉**

主はヨシュアに告げられました。「今日から、あなたを全イスラエルの見ている前で大いなる者とする。そして、わたしがモーセと共にいたように、あなたと共にいることを、すべての者に知らせる」と。ヨシュアはすでにモーセの後継者、イスラエルの新しい指導者とされていましたが(1:1-9, 16-18)、実際にはこのヨルダン渡河において大いなる者とされるのです。

ヨシュアは民に言いました。「主の箱を担ぐ祭司たちの足がヨルダン川の水に入ると、主は川の水をせき止め、あなたたちは川を渡ることができる。このことによってあなたたちは、生ける神があなたたちの間におられ、確かにカナンの地をあなたたちにお与えくださることを知るようになる」(9-13)と。この時、ヨシュアは主から告げられたことを民に告げただけですが(7, 8)、主はヨシュアに告げられたとおりのことをなしてくださいました。それで、ヨシュアはこのことに

よって名実ともにモーセに替わる新しい指導者となることができたのです。

**〈主は力ある業によって契約を果された〉**

祭司たちは主の箱を担ぎ、民の先頭に立ってヨルダンの岸辺までやってきました。季節はちょうど春の刈り入れの時期(4月初旬)で、ヨルダン川は雪解けと春の雨とで水かさが増し、堤を越えんばかりの勢いでした。ところが、契約の箱を担ぐ祭司たちの足が水際に浸ると、川の流れば上流の町アダムでせき止められ、「壁のように立った」ということです。それで、祭司たちが川の真中の干上がった川床に立ち止まっている間に、イスラエルの人々はすべて渡り終えることができたのでした(14-17)。

この時実際に何が起こったのか、色々の説明がなされます。急に山崩れが起こって、一時川の水がせき止められたという説明もなされます。しかし、それでは、なぜ主の箱を担いだ祭司たちが水際に達した時にこれが起こり、また民がすべて渡り終えた時に水が戻ったのか、説明ができません。

やはり、私たちは、出エジプトの時の「葦の海」での奇跡と同様、主の驚くべき御業としての奇跡そのものと解する他はありません。このために次の四つの理由を挙げる事ができるでしょう。①あらかじめ指導者ヨシュアに告げられたということ、②水は「全く断たれた」(せき止められた)と言われていること(16)、③民が渡り始めてから渡り終えるまでせき止められていたこと、④この奇跡のスケールの大きさ。

主は大いなる御業によって、ご自身の契約(1:2-4)を守り、イスラエルの民を約束の地カナンへと導かれたのです。(宮崎彌男)

テキスト ヨシュア記3章  
参照カテキズム 子どもカテキズム問70

### 〔単元のねらい〕

ヨルダンの深い川は、信仰者の生涯の歩みにおいて立ち足はかかる試練や困難の象徴である。荒れ野の旅路を導かれた神は、今しも約束の地に入ろうとしていたイスラエルの信仰を、旅の終わりに今一度問いたもうた。そしてヨルダンを乾いた地となすみわざによって、み言葉に信頼して歩むならいかなる試練にあっても守られることを鮮やかに示したもうた。このことは時代と場所をこえた真実である。私たちもみ言葉に踏みとどまる信仰をあらたにしたい。

## 「み言葉に踏みとどまる」

神さまの選びの民イスラエルが、エジプトの国、奴隷の家から救い出されたときに、すでに神さまはイスラエルに、乳と蜜の流れる豊かな土地、カナンをお与えになって、そこに住まわせると約束してくださっていました。そのカナンを目指す旅は、40年の荒れ野の旅でした。それは厳しく苦しい旅でしたが、神さまはそこでイスラエルの人々を訓練して、信仰に生きる民としてとどめてくださいました。その旅路のすべてを、神さまは守ってくださいました。そして、その旅もいよいよ終わりに近づき、約束の地カナンはもう目の前でした。もうこれで長く苦しい旅も終わる、これからは安らかな日々が待っているとイスラエルの人々は喜びいさんで、最後の歩みを踏み出そうとしたにちがいありません。

ところが、その足取りを棒立ちにさせるものが立ちふさがりました。ヨルダン川です。とても深い川です。とくに春先には、雪解け水と春の雨の水とで、とてつもなく水かさが増すのです。

イスラエルはこのときに、絶望的な思いであったかもしれません。もうカナンは目の前だということに、こんなに深い川を渡っていくなどということが、果たしてできるのでしょうか。これまでの40年も苦しい旅を耐えてきたのに、ここですべてが水の泡となってしまうのか、そのように思いたくもなります。

このときのイスラエルのリーダーは、すでに

モーセからヨシュアにかわっていました。ヨシュアは、前に進むのか、それとも引き返すのか、とても悩んだと思います。もう目の前にカナンの地がひろがっています。けれどもそこに入るには、この深い川を渡っていかなければなりません。ヨシュアの目は、ヨルダンのおびたしい水の流れをとらえたことでしょう。それから、これまで荒れ野の旅で労苦をともしてきた民、とくに子供たちや年老いた人々、女の人たちといった弱い人々に注がれたことでしょう。この人々をあえて危険な目にあわせるような無謀なことをするよりも、いっそ引き返したほうがよいという考えが、ヨシュアの頭をかすめたのではないのでしょうか。

そのときヨシュアの目は、民の列のうしろのほうで、契約の箱をかついでいた祭司たちをとらえたのです。契約の箱には、十戒の記された二枚の石の板がおさめられていました。神のみ言葉のおさめられた箱は、生ける神のご臨在のしるしです。契約の箱は、これまでの40年の命がけの旅にあって、いつもイスラエルとともにありました。つまり、これまで神さまはイスラエルから離れることなく、この民を守り続けてくださったのです。そして、これからもどのような試練や困難のときにも、神は自分たちから離れたもうことはない。必ず守り助けてくださる。そのことにヨシュアは気づかされたのです。

神さまはヨシュアとイスラエルの民にこうお命

じになりました。契約の箱をしっかりとついでま  
ま、深い川の中に足を踏み入れなさい。そして、  
川の中に立って、踏みとどまっていなさい。

イスラエルがそのとおりにしたとき、契約の箱  
をかついだ祭司たちの足が水際にひたると同時  
に、ヨルダン川の水は両側で立ち、川は乾いた地  
となり、民はみなそこを歩いて渡りました。民が  
すべて渡りきったときに、水はもとどおりになり  
ました。こうしてイスラエルは約束の地カナンに  
入っていきました。わたしはあなたがたに乳と蜜  
の流れる地を与えるとの神さまの約束は、まさし  
く確かであったのです。

私たちの日々の歩みにおいても、ときにヨルダ

ンの深い川のように、試練や困難が立ちはだかる  
ことがあるかもしれません。けれどもどのような  
ときにも、神さまは私たちとともにいてくださ  
います。そして、必ず私たちに最もよきことをな  
してくださいます。この約束は確かです。

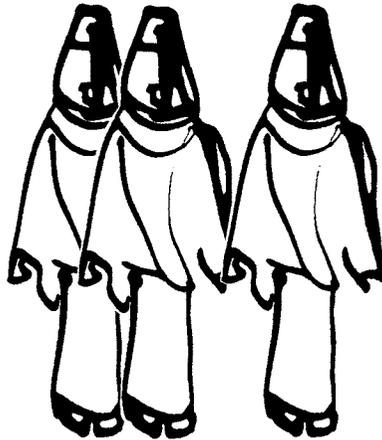
私たちは、どのようなときにも変わることも、  
揺らぐこともないイエスさまのみ言葉にしっかりと  
踏みとどまっていましょう。そのようにするど  
きに、神さまは私たちの命を支え守ってください  
ます。昔イスラエルの人々に大いなるみわざを見  
せてくださった神さまは、今私たちをも守り導い  
てくださるのです。 (木下裕也)

---

[今週の暗唱聖句] ヘブライ人への手紙13章8節

イエス・キリストは、きのうも今日も、また永遠に変わることはない方です。

---



キリスト・イエスは、きのうも今日も、  
また永遠に変わることはない方です。

**〈ねらい〉**

私たちは生きています。もう今度はだめかもしれないと思うほどの苦しみや窮地に立たされることがあります。そんな時に、必ず神様が共にいて助けて下さることを感謝しよう。

**〈展開例〉**

「神様の約束の地カナンは、ヨルダン川を渡ればもうすぐです。でも、ヨルダン川は台風の時の川のように水がいっぱいで、深くて渡ることができません。子どもも女の人も老人も、そして動物も一緒です。どうやって渡ればいいでしょうね。神様は奇跡を起こして助けて下さったのです。どうやってでしょうね？契約の箱を担いだ人が川に足を入れると、川の水が流れてこなくなったのです。それでみんな渡ることができました。全部の人が渡り終わると、川は元のようにいっぱい

く流れ出したのです。どんな時も神様は信じる人を助けて下さるのです。私たちは、生きています。うれしいことやいいことばかりではありません。泣きたくなるほど辛いことや困ることもあります。みんなのお父さん、お母さんもそんな時があります。病気になったり、仕事がうまくいかなかったり、台風などで家が壊されたり流されたり。でも、神様が共にいて下さいます。だから心配せず、感謝しましょう。」

**〈おいのり〉**

神様、いつも一緒にいてくださりありがとうございます。苦しいこと、悲しいことのために、神様のことを忘れてしまわないように、弱い私たちを強くして下さい。私たちをいつも守って下さり、ありがとうございます。

**〈やってみよう〉**

深いヨルダン川にも神様の創造された魚がいることでしょう。

魚を作って川に泳がせよう。

- ①先生が大きな画用紙に川を描いておく。
- ②色紙に川に住む生き物（魚、かになど）を描いておく。
- ③子どもたちに切らせる。（できない子は先生が切ってやり、目など色をぬらせる）
- ④それらを川に貼り付ける。



**〈ねらい〉**

困ったときにも神さまがごいっしょなら大丈夫であることを、ヨシュア記3章の物語から生徒の心に刻む。

**〈展開例〉**

ヨシュアは、ある朝早く起きてイスラエルの人々全員をヨルダン川のところまで連れて行き、三日間そこでテントを張って泊まりました。そのあいだ皆はとても緊張していました。ヨシュアが出す命令をかたずをのんで待っていたのです。やがてヨシュアは役人に命じて、こういうふうに伝えました。「みんなは契約の箱をよく注意して見ていなさい。祭司さんたちが契約の箱をかたずで動きだしたら、そのあとに続き、あなたがたも出発するのです。すぐにテントをたたんで、荷物をラクダやロバにくくりつけ、忘れ物のないように、そして小さい子どもたちはだっこしたり手をつないだりして、みんなに遅れないように歩き出すのです。よいですか。だれ一人遅れてはいけませんよ。みんなそろって行くのですよ。そのとき、先に契約の箱がいきますから、それについていくのですが、契約の箱のすぐ後ろにだれもいてはなりません。必ず二千アンマ（一アンマは45センチメートルですから900メートル）、先に行く契約の箱から離れてついていかなければなりません。列の先頭の人をよく前を見て進んでください。」

イスラエルの人々は役人のひとからこのようなことを伝えられたのですが、心の中は心配でいっぱいです。なぜなら目の前には大きなヨルダン川が流れているのです。どのくらい深いかだれもわからないのです。川が狭くなるところがどこかにあるのでしょうか。それとも浅いところを見つけてそこを渡っていくのでしょうか。ヨシュアさんがいったいどう考えているのか、みんなはとても

不安な気持ちでいっぱいでした。そのとき、ヨシュアさんが不思議なことを言いました。「あなたたちは自分自身を真の神様にささげなさい。なぜなら、神様は明日、みんながびっくりするようなどても不思議なことをなさろうとしておられるからです。」このことを聞いたイスラエルの人々は、さあ、いよいよ出発の時がきたのだと感じました。そして、それぞれの家族が自分のテントの中で神様にお祈りをささげて、自分たちは真の神様にこれまで従いましたが、神様はわたしたちをどんなときにも怖いことからお守りくださり、食べ物が無くなったときにもわたしたちが困らないように不思議な方法（マナやうずらで助けてくださったこと：出エジプト記16章13節、16章13節）で助けてくださったことを思い出して、今度も神様はきっとわたしたちを守ってくださるに違いないと思いました。

次の日、神様はヨルダン川の水を流れないように、ダムで水が止まるように止められて、イスラエルの人々は川底の乾いた土の上を歩いて渡ることができました。

**〈いのり〉**

なんでもおできになる神様。イスラエルの人々が神様を信頼してヨシュアさんの言葉にしたがったように、わたしたちも神様に信頼していこうことができるようにしてください。イエスさまのお名前をとおしてお祈りいたします。アーメン。



**〈ねらい〉**

人生の困難に直面して、その時神が不思議な業で私達の道を開いて下さることを今日のテキストを通して学ぶ。

**〈展開例〉**

神様が約束されたカナンの土地にはすでにカナン人が住んでいた。

そこは偶像礼拝と道徳乱れの地であったが彼らは強力な軍事力を持っていた。

ヨシユアに率いられたイスラエルの行く手を遮るのはその拠点エリコであり、今日のテキストの記事ヨルダン川である。降水量の少ないパレスチナ地方とは言え、雪解けの水源をヘルモン山にもつヨルダン川はあふれるばかりの水量であった。敵前で橋のない川を渡る。ちょうど出エジプトで葦の海を前にして背後からエジプトの軍が迫って来るに似ている。これらの知識を前提に生徒達の持っている出エジプトの知識等を尋ねながら進める。復習になるが今日の説教で話された内容を生徒に確認させたい。

1. ヨルダン川を渡る必要性。
2. ヨルダン川の様子。(聖書地図)
3. カナンとエリコの様子。カナンとエリコの写真や絵が有れば見せる。
4. 先頭を進んだのは誰か。(何か)

**〈やってみよう〉****靴下でつくる人形**

次のページに掲載しています。

5. なぜ契約の箱が前を進んだのか。
6. その時何が起こったか。
7. 出エジプトの奇跡との違い。
8. 契約の箱(写真が有れば見せる)を映画「レイダース/失われたアーク」の様に単にその神秘性と見てはならない。
9. 奇跡は物理的に説明できるかも知れないが聖書は説明できない記事で満ちている。
- 10 今日奇跡の中で一番驚いたのは誰か、それはイスラエルの民であり、エリコの人々をも驚かせたのではないか。  
又教師の体験で困難が信仰によって解決された事が有れば短く話すのもよい。又生徒に話してもらうのもよい。
11. 3章5節のヨシヤの宣言と従ったイスラエルの人々の信仰に注目したい。

※以上の課題を○×式にして質問用紙を作ってもよい。

**〈祈り〉**

※生徒に祈らせてもよい。

天の神様、私達の人生には色々な苦しいことがあります。けれども神様は何時もいっしょにいて助けると約束して下さいました。ありがとうございます。イエス・キリストの聖名によって感謝してお祈りします。

## ソックス人形の作り方

千里摂理教会  
辻 やすお



9 かぶせた裾を折り返してつばにして  
完成頬に紅をつけたら可愛い女の子



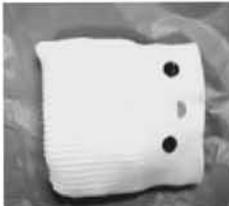
1 かかとを上につま先を左に折る



2 更にもう一度左に折る



3 左のくるぶし部を袋にして  
右にかぶせる



4 目と口を張り付ける  
(最後でも良い)



5 色物をかかとを下にしてくるぶしを  
図のように充分挿入する



6 下に折り左に持ってくる



7 頭の部分になるように1-2回折り返して  
袋にしてかぶせる



8 かぶせた状態

**〈ねらい〉**

主が共にいてくださることに信頼する。

**〈展開例〉****1. 聖書をもう一度読む****2. 分かち合い**

Q. 説教を聴いて教えられたこと、心に響いたこと、実行しようと心を動かされたことは？

Q. 分からなかったことは？

※教師、生徒という以前に、まず教師自身が神の御前に一人の御言葉の聴衆として、教えられたこと、感動したこと、心を導かれていることを、率直に生徒達に話すことが大切だと思います。自分の心に響いたメッセージが一番生徒の心に届くからです。分級では何かを新たに教えようと無理に導くのではなく、生徒達と御言葉を巡って語り合ったり、共に祈る時間を重視してくださいと思います。

**3. 質問例**

※質問例は、それぞれのクラスの実情に合わせてアレンジしていただき、解答例は子供達の答えを補足したり、教えたりするのにお用いくださいと思います。

Q. モーセの後継者ヨシュアの率いるイスラエルの民は約束の地カナンに入ろうとしていましたが、彼らの眼前には深いヨルダン川が立ちふさがっていたのです。彼らにとって、この川はどのような存在だったのでしょうか？

→越えられないように思える試練や困難。

Q. 主の契約の箱を担いだ祭司たちが民に先立って進むということには、どのような意味があったのでしょうか？ 主の契約の箱にはどのような意味があったのでしょうか？

→契約の箱は主の臨在の見えるしるしであり、

この箱が民に先立って進まれることは、主御自身が民の先頭に立って約束の地へと導いてゆかれることを意味した。

Q. 「春の刈り入れの時期で、ヨルダン川の水は堤を越えんばかりに満ちていたが、箱を担ぐ祭司たちの足が水際に浸ると」(15節)川はせき止められました。これは何を教えていますか？

→神様がヨルダン川をせき止めて、道を作ってくださいましたこと。神様はイスラエルの民の目の前の不可能と思えるような試練、困難を御自身が何とかしてくださいました。

Q. そもそも主は何故、ヨシュア率いるイスラエルの民を助けられたのでしょうか？

→「強く雄々しくあれ。あなたは、わたしが先祖たちに与えると誓った土地を、この民に継がせる者である。」(ヨシュア記1:6)とあるように、主がイスラエルの民の先祖たちに誓った約束(契約)に対する真実による。

Q. 主は私達をも助けてくださるのでしょうか？

→私達はイエス様によって恵みの契約に入り、「神のイスラエル」(ガラテヤ6:16)とされている。イエス様は、「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」(マタイ28:20)とお約束くださいました。私達の目に乗り越えることなど不可能と思える困難や試練に直面しても、「主が何とかしてください」そう主のお約束への真実を信頼することができるのである。

**4. お祈り**

神様が共にいてくださるとのお約束への信頼が強められるように。

※一人一人に祈りの課題を出してもらったり、自然に浮かび上がってきた課題を祈っても良いと思います。